

砂防教室

○土砂災害防止月間について

6月は土砂災害防止月間であり、土砂災害防止に向けて住民の理解と関心を深めるため、砂防事業と土砂災害に対する避難体制の整備に関する普及活動を実施することにより、土砂災害による人命、財産を守ることを目的としており、全国でいろいろな活動を行っています。

砂防教室は、この土砂災害防止月間の活動の一環として、5月下旬から6月にかけて実施しています。

○砂防教室とは

砂防教室は、多治見市、土岐市の小学生4年生を対象に、土砂災害の恐ろしさと砂防施設の必要性を学んで頂くことを目的としています。

毎年、多治見市、土岐市の多くの学校に参加して頂いております。

○砂防教室の内容

砂防教室は、パネルによる「砂防の話」、降雨体験、土石流模型実験、土砂災害映像体験及び実際の砂防ダムなどの砂防施設見学を行います。

○昨年度の様子



「砂防の話」を真剣に聞いている子供たち



降雨体験機で時間雨量120mmの雨を体験する子供たち



土石流が発生する様子を模型で体験する土石流模型実験



「砂防の話」から出題されるクイズを回答する子供たち

